

多くの皆さまのご参加ありがとうございました。



5月23日午前10時一斉放送後の青いリボン掲出には、205戸の参加がありました。防災アンケート、防災クイズ、ユニディ購入なども含め、マンション全戸数の2/3以上の方々の参加となりました。

皆さんの取り組みが、いざという時の力になります。今後も防災訓練等を通じて被災時の準備をし、自助・共助ができるマンションを目指しましょう。

本日、青いリボンがお手元にないと思われるお宅には、追加の青いリボンをお配りしました。青いリボンや防災キットがご自宅で見つからない場合は管理事務所までご連絡ください。

防災クイズの解答と解説

防災週間2021では多くの皆さんが防災クイズに挑戦してくださいました。答え合わせをしてみましょう。正解だった方も、間違った方も、解説を読んでより防災知識を深めましょう。

解答してくれた皆さまには、防災食の参加記念品をお配りしました。

2020年に改正された狛江市洪水ハザードマップによると、パーク・ハイム狛江付近の想定最大浸水深さは？

正解：最大5メートル

多摩川流域での48時間の総雨量588mmという、水防法の規定に定められた想定しうる最大規模の大雨時に多摩川が氾濫した場合の浸水深さです。1, 2階の住戸が浸水することかもしれませんが、いざという時に住人同士で助け合えるよう、日頃より同じエントランスの方々などと、交流を深めておくよう心がけが大切です。



マンションが長時間停電になった時に使えなくなる設備は？

正解：エレベーター、水道水、テレビ、インターネット、インターホン(すべて)

マンションの設備は電力を使用しているものがほとんどです。停電が起きた場合、エレベーターは非常用電源により閉じ込められている人を脱出させたのち、電力が復旧するまで停止となります。また、水道水はマンションに設置してある非常用発電機により数時間給水ポンプを稼働させることができますが、発電機の燃料がなくなれば各家庭への給水はストップします。

テレビ(壁のアンテナ端子)もインターネット(光接続など固定回線)もインターホンもすべて使用できなくなりますので、非常用のラジオなどを備えておくとうれしいです。スマートフォンや携帯電話の充電ができる、モバイルバッテリーも用意しておくといいでしょう。



自宅で避難生活を送る場合、飲料水は1人1日どれくらい必要？



正解:3リットル

内閣府によると備蓄する飲料水は1日1人3リットル×3日分が目安となっています。しかし、非常に広い地域に被害が及ぶ可能性がある南海トラフ地震などの大規模災害を想定して、狛江市では7日分の飲料水の備蓄を呼び掛けています。

飲料水、食料、簡易トイレ等以外にも、自宅内で避難生活を送る場合に必要なものを、いま一度見直してみましょう。

各ご家庭に備えてある「防災キット」にある「青いリボン」。この使い道は？

正解:「災害発生後、無事であることを伝える」

「無事で、救助の必要がないことを伝える」青いリボン。

「すぐに助けが必要なことを伝える」赤いリボン。

この2色のリボンの使い分けを覚えてください。どちらのリボンも出ていないご家庭は「助けを求めることもできない可能性がある」と判断し、可能な限り救助に向かう予定です。

日頃より、防災キットはすぐに取り出せるところに置いておきましょう。



パーク・ハイム狛江防災ウェブサイトには2019年台風19号のまとめ記事がある？ ない？

正解:ある

皆さんはもう防災ウェブサイトをご覧いただけましたでしょうか？

平常時は防災対策チームの活動記録などを載せていますが、災害時はライフラインなどの情報もお伝えしていきます。ぜひ日頃から時々アクセスして、マンションの様子なども知っていただけたらと思います。

<https://bosai.ph-komae.info>



防災サポートメンバーの活動は？

正解:防災訓練のイベント時など要請があった場合、都合がつくときのみ参加する

現在、防災対策チームは6名のメンバーと自治会委員で活動しています。この限られた人数ではいざという時に力が足りません。そのような時にサポートするのが、防災サポートメンバーです。「いざという時」「防災訓練のお手伝い」など、ご都合がつく時だけの参加で大丈夫です。多くの方に防災サポートメンバーに登録していただき、共助の輪が広がれば幸いです。

パーク・ハイム狛江管理組合法人 防災対策チーム
パーク・ハイム狛江 自治会

問題3

問題4

問題5

問題6